2022.06.09. 木曜礼拝「イスラム教」Mac 牧師

今夜の学びを始める前に、御座に持っていき、私たちの教えに主の祝福を求めましょう。

愛する天のお父さま、主よ、あなたの御名のもとに集い、あなたの真理の御言葉を聞くことができる、このような貴重な機会を与えてくださったことに、心から感謝いたします。あなたが真理です。今晩、私たちはあなたを求めます。この時間を感謝し、喜んでお返しします。あなたは祝福をもって尊んでくださることを知っているからです。

主よ、今夜、あなたの御言葉で私たちの心、思考、魂に祝福を与えてください。私たちが御言葉によって生き、自己に死ぬことが出来ますように。イェシュア、イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

さて今夜は、イスラム教という宗教について学びます。他の民族や宗教、システムについて語る他の教えと同じように、その原因は、言ってみれば、かなり感情的な揺さぶりなのです。イスラム教では、彼らの教義について話すと、多くの感情が伴うのです。圧倒的に白熱するのは、イスラム教の教義についてです。イスラム教とキリスト教の論争を見たことはありますか？　典型的な暴走です。それだけ、緊張感や感情背景にあるのでしょう。それが問題の一因でもあります。どんなに慎重に進めても、どんなにゆるやかに進めても、どんなにやさしくしても、必ず対立が生じるのです。なぜなら、結局のところ、真理は一つしかないからです。それだけです。真理は一つだけです。結局、父なる神への道は一つしかないのです。その道とは、イエス・キリスト、贖い主による道です。

イスラム教を信じる多くの人が大胆であっても、私たちは誰も動じるべきではありません。私たちは、もっと大胆になるべきです。傲慢という意味ではありません。それは、自分たちが信じていることを大胆に表現することです。それは真理だからです。この地球上のすべての宗教のなかで続いている、他のすべての道、物質主義の宗教も含めて、それは宗教です。すべて偽りです。ひとつ残らず。イエスが、その道です。そのすべての道が、広い門なのです。イエスは狭き門です。これはマタイの福音書 7 章 13 節、14 節に書かれています神の御言葉をお読みします。

マタイ 7

13 狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。
14 いのちに至る門はなんと狭く、その道もなんと細いことでしょう。そして、それを見出す者はわずかです。

さて、この 2 つの節から、多くのことを読み取ることができます。しかし、文脈を無視してしまうこともあります。これを指摘してみましょう。この節の中で、私が何を言いたいのか、このような理解と考え方を持ちましょう。13 節で、広い門は簡単に見つけられる門であるかのように書かれています。ただ流れに従っていればいいのです。模索することはありません。「皆はどこに行くの？」その道が正しいように思うのです。しかし、14 節では、狭き門を見つけるには、努力が必要なようです。私にとっては、これは探し求めることです。主を求め、神の御国を求めること。ここアメリカは、まだとても恵まれています。なぜなら、私たちは主を探し求めることができるからです。私たちは狭い門を見つけるのに、言い訳をすることはできません。しかし、他の国では、人々が真の生ける神を探し求めることはほとんど不可能なのです。しかし神は、彼らのために道を開いてくださいます。なぜなら、神がそう仰い、神の御言葉の中で宣言されているからです。マタイの福音書 24 章 14 節にも書かれています。お読みします。

マタイ 24

14 御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。

「全世界」とありますね？　全ての国々です。もちろん、その中にはイスラム教を信仰している国も含まれます。そこで、神の御言葉の権威に基づき、私たちはなぜイスラム教徒/ムスリムが従っている神は、真の生ける神ではないと信じるのか、その理由を示していきます。その前に、イスラム教の始まりにまつわる事実と歴史について見ましょう。彼らの教義には、私たちクリスチャンがよく知っているような箇所が、コーランにいくつか含まれています。さらに、最大の矛盾を明らかにします。そして、祈りながら、手短に、私たちがムスリムに対して効果的な証人になるためのヒントをいくつか見てみましょう。どれもすべてを網羅するものではないことを、どうか覚えておいてください。誰もが自分の課題をこなし、自分のスキルを身につけなければならない、と言ってもいいでしょう。そして、証人になる方法を学ばねばなりません。これをきっかけに最低限は積み重ねることができるように祈ります。詳しい方にとっては、ご存知のことが多いでしょう。では、イスラム教の話をしましょう。

イスラム教が世界第 2 位の宗教であることは、ほとんどの方がご存じでしょう。今、多くのムスリムが、信じられないかもしれませんが、キリスト教に改宗しているのです。欧米では多くの人が改宗し、あるいはイスラム教に対して寛容になっています。それが、私たちが見ているものです。ここ欧米では、イスラム教に関心があります。これにはいくつかの理由があります。彼らが容認したり関心を持ったりする最大の理由のひとつは、イスラム教を恐れているからです。欧米の多くの人々はイスラム教を恐れています。だから、ある問題には沈黙し、他の問題にはただ逃げるのです。彼らは確実に戻って来ません。恐れです。例を挙げましょう。ここ欧米では、聖書からの説教はヘイトスピーチだというところが多いのです。ついて来ていますか？　欧米では、聖書からの説教はヘイトスピーチだと考えているところが多いのです。しかし、同じ言葉をコーランから説かれると、何も言えなくなるのです。面白いと思いませんか？「まぁ、もしかしたらそれが真理だからじゃない？」と誰かが言うでしょうが、違います。それは恐れからです。そういうことです。良いでしょう。私たちはそのことに驚いてはいけません。聖書には、人を恐れることは罠であると書かれています。（箴言 29:25 参照）

それは罠であり、多くの者が恐れるのです。私たちが聖書を説くと、ヘイトスピーチとみなされるのは、それが真理だからです。それが真理です。真理は違う形で引き金になります。人々がイエスを憎んだように、私たちをも憎みます。それが違いです。そう語られているのだから、驚くことはないはずです。

実際、私たちがなぜそれを信じているのか、その最初の例の一つです。もうひとつ、イスラム教やコーランを学ぶ際に理解すべきことは、その記述はムスリムの生き方であるということです。それは 7 世紀から派生した生き方です。ですから、コーランを見ていく時、私たちの考えが、そのように理解していく必要があります。イスラム教のアラビア語学者たちはこう言っています。お聞きください。

「イスラム教は 7 世紀のアラビア文化を神格化したものだ。」分かりますか？　そのレベルまで文化が高められているのです。別のイスラム教学者はこう言っています。引用。

「イスラム教は宗教であり、文化である。そして宗教と文化として一体である。」

ですから、ほとんどのイスラム諸国では、政府当局に逆らえば、信仰体系に反することになるのです。そういうことなのです。それは、7 世紀の構造に生まれ、大きく閉じこめられた、国民を支配する生き方です。一種の神権国家と考えることもできますが、多くの場合、独裁者のように見えるのです。それには理由があります。さて、私にとっては、ここで一般的に連想されるイスラム教の言葉の意味をいくつか理解することが助けになります。というのは、多くのムスリムが、その性質そのものを取り込む

理由の一つを明らかにしているからです。「イスラム」という言葉を見てください。「服従」を意味します。多くの人が、この服従は彼らの神に対するものだと指摘します。しかし、これは実際には、無数の文化やあらゆる種類の儀式、伝統に対する服従なのです。より良く語られる体制に服従しているわけで、宗派によって、変わってくるのです。「ムスリム」という言葉を見ると、「服従する者」という意味です。そしてまた、その服従は彼らの神、アッラーに対するものであると言います。ムスリムは、神という言葉は、神がどのようなお方であるかの真の意味を示していないと信じているのです。アッラーという名が示していると。アッラーという名に関して、いくつかの定義があるそうです。その多くは、ご想像の通り、私たちの神のご性質に沿うものです。そして、最後に紹介する名は、「モハメッド」です。モハメッドという名は、「賞賛された者」「賞賛に値する者」という意味です。ムスリムは、モハメッドを偉大で最後の預言者だと考えています。この男と彼を取り囲んでいた支配者たちによって、イスラム教は、イエス・キリストの死後 500 年以上経ってから誕生しました。

では、モハメッドに関して。モハメッドは西暦 570 年に、メッカで生まれたと言われています。父親は、彼が生まれてから 2 カ月ほどで亡くなったとする説があります。生まれる前に死んだという説もあります。要は、モハメッドは自分の父親を知らなかったということです。その上、6 歳の時に母親を亡くしています。祖父のもとへ行き、荒野で育てられました。しかし、それは 2 年間だけで、8 歳の時に祖父が亡くなってしまうのです。そうしてメッカに戻り、叔父と暮らすことになります。彼の叔父は、少なくともプールを持っているほど、人脈がありました。そして、モハメッドの始まりは羊飼いであったと書かれていました。ある種の実業家にまで上り詰めたのです。モハメッドは、ある富裕層のために仕事をしていたのです。そして、どうやらちょっとした幸運が舞い込んできたようです。なぜなら、彼は 25 歳で 40 歳の未亡人と結婚するのですから。彼女がプロポーズするのです。彼女は、彼の職場の人たちの一人だったのです。彼の働きぶりに感心したのでしょう、おそらく他のことにも感心したのだと思います。とにかく、彼らは結婚しました。彼女の名前はカディージャ。彼女との間に 4 人の娘と 2 人の息子をもうけます。しかし、息子たちは 2 人とも幼い頃に亡くなってしまいました。西暦 610 年、彼が洞窟に座ってアッラーに祈っていたときのことです。他の皆が油注ぎ月のメッカで、この 360 ほどの神々に祈っている時に、大天使ガブリエルがやってきて、3 回に分けて読むようにと言ったそうです。しかし、モハメッドは「読めません」と言いました。学校に行ったことがなかったのです。彼は無学でした。そこで、ガブリエルがモハメッドに語りかけ、彼はアッラーから直接受けたガブリエルの言葉を暗唱したと言われています。22 年以上にわたって、彼は聞いたことをすべて暗唱し、友人たちがそれをすべて書き留めました。彼が亡くなった後、すべての記述をまとめたのです。そして、コーランが誕生したのです。コーランそのものは、暗唱という意味です。それがコーラン/暗唱です。言葉を暗唱し、書き写したからです。モハメッドには、まだまだたくさんあります。これは一言で言えば、コーランがどのように生まれたかということです。さて、彼らの教義に触れる前に、私はモハメッドが最後の預言者であると主張したことが本当に興味深いと思います。彼はまた、律法も福音書も、彼が来ることを預言していると言うのです。コーランでは、スーラ 7 章 157 節の冒頭に書かれています。以下はその主張です。

「御使いに従う者、無学の預言者、彼らが持っている律法と福音の中に書かれている者である。」

これは、偽預言者としての自己告発と言えるでしょう。ついて来ていますか？　律法にも福音書にも、モハメッドについて書かれたものは全くありません。しかし、はっきりしているのは、その当時、その地方で知られている真の生ける神の知識が世界にあったということです。どれほどのものかは議論されうる

でしょう。しかし、それは知られていました。コーランに書かれている律法に関して、似たようなものが多いのはそのせいかもしれません。これはすでに知られていたことで、もみほぐされていた感じです。仮説ですが、それなりに重みがあると思います。コーランには聖書と一致する箇所がたくさんあるのです。沢山あります。しかし、それらの真理の箇所は、神の御言葉に反するだけでなく、神というお方のご性質そのものに反する箇所を見過ごすことは許されません。コーランを読んでイスラム教とキリスト教は本質的に同じだと思うと言った多くの牧師が説教壇の後ろに立っていることは信じがたいことです。呆れるほどです。これらの牧師は、私たちは同じ神に仕えていると教えるのです。それはあり得ないことです。彼らの教義に基づき、はっきりと分かるでしょう。今、イスラム教には有名な宗派がいくつかあります。この宗派別地図に見られるように、最大の宗派はスンニ派です。この宗派別地図に見られるように、最大の宗派はスンニ派です。スンニ派は、モハメッドの最初の 4 人の子孫を除いて、それ以外の人は入れません。スンニ派は、モハメッドの最初の 4 人の子孫を除いて、それ以外の人は入れません。2 番目に大きい宗派は、シーア派です。イマームと呼ばれる 12 人の霊的指導者に従う人たちです。このことについて勉強して、聖句を見ると、驚くべきことです。とにかく、ほとんどのイマームが殺されました。彼らはマフディーと呼ばれる最後のイマームを待っていると言われています。そして、世界の終わりの前に、平和な時代と、ある種の黄金時代をもたらすと信じているのです。イランのムスリムの人口のほとんどは、シーア派です。アヤトラの支配下にあります。また、イシュマエル・イテのグループや、ルイ・ファラカンが率いる「ネーション・オブ・イスラム」に関連するムスリムもアメリカに存在します。5 パーセントの人たちがいて、その他にも主要な宗派から分派した人たちがいます。繰り返しますが、すべてのムスリムが同じように行動しているわけではありません。しかし、その後に続くのは、それらと最も合致する裁きの教義です。第一に、彼らが仕えるアッラーと呼ばれる神です。ムスリムは、神は唯一であり、その名はアッラーであると信じています。さて、私たちクリスチャンも、唯一の神を信じています。しかし私たちの唯一の神は、父なる神、子なる神、聖霊なる神です。それが私たちの神です。理解する必要はなく、ただ知るだけでいいのです。それは聖書の初めから終わりまで、ずっと書かれています。これは新約聖書の新しい概念ではありません。聖書のいたるところにあります。私たちが信じている神の御子とは、イエス・キリストのことです。忘れてはならないのは、イエスは「力ある神」とも「永遠の父」とも呼ばれていることです。イザヤ書 9 章 6 節に書かれています。このことを強調するのは、イスラム教では、神の子は存在しないからです。実際、イスラム教では神を父と呼ぶことは冒涜にあたります。息子がいると言うのは、もっと悪いことです。神への冒涜を 2 倍にしたようなものです。なぜなら、彼らが見ているのは肉体的な関係だけで、霊的に得られるようなものではないからです。彼らの考えでは、アッラーはあくまでも超越的な存在であり、被造物から切り離されています。さて、私たちが仕える神は超越的な存在です。確かにそうです。しかし、神はまた、聖霊の力によって私たちの内に永遠に生きておられるのです。私たちには、個人的な神がおられます。そして最後には、私たちと共に住んでくださるのです。私たちは神の民となり、神の完全な御姿を見ることになるのです。黙示録 22 章に書かれています。しかし、ムスリムに聖書を引用するのは、ほぼ無意味です。聖書を聖なるものとみなしていても。なぜなら、問題があるからです。ムスリムは、原典だけが神の真の言葉を含んでいると教えられます。その後に続く、現在のようなものは、すべて堕落してしまったと。それでも、彼らの教義では、4 冊の書を聖典とみなしています。そしてまた、同様に従う 5 つ目のものもあります。これらの書物は、私たちが知っている聖書の最初の 5 書である「トーラー」または「モーセの律法」です。また、ダビデの詩篇や、イエス・キリストの福

音書も全部見るのだそうです。しかし、イスラム教の教えの中では異なる定義がなされています。もちろん、彼らはコーランを信じ、コーランは神聖なものであり、実際、それらすべてに優先するものであると信じています。彼らが生活習慣としている伝承を集めた「ハディース」にも注目したいと思います。
さて、このことを本当に心に留めておく必要があります。なぜなら、彼らが完全なものとして見ていると主張する聖書に関するすべての書の中で、彼らの教義はやはり一致しないのです。特に、イエス・キリストの贖罪の御業に関しては。それは、神が時の始まる前から定めておられたことです。これはコーランにはないものです。それは彼らの教義にはないですが、明らかに聖書の中にはあり、彼らが神の霊感によるものだというトーラーの中にでさえ、それが語られているのに。ここで問題なのは、たとえ彼らが『トーラー』や『ダビデの詩篇』のある側面、おそらく『福音書』のある側面を信じていたとしても、対立があるんです、大きな対立が。聖書の中にコーランと一致しないものがあると、コーランは彼らの視点から聖書のすべてを上書きしてしまうのです。だから、ここを見て、と言われても、それは腐敗しているという事実を突き付けられるでしょう。これは前にも見たことがありますよね？　人々の頭の中にある何かがおかしくて、読むべき聖書が腐敗しているのです。そして、彼らは何をしたのか？　彼らは変えたいのです。神の御言葉は変えられません。勘違いしないでください。しかし、彼らは変えようとするのです。モルモンはそうしました。エホバの証人もそうしました。そうですね？　ゲイ・バイブルという聖書もあるくらいです。見たことありますか？　あるんです。全ては彼らの思想に捻じ曲げられるのです。だから、私たちの翻訳は、彼らの考え方に合うように歪められているのです。おかしいと思いませんか？
また、ムスリムも一貫して教えられています。コーランに書かれていることは何ひとつ間違いないという教えです。このように、私たちが直面している困難がわかると思います。選ぶことが許されているのですが、しかし、コーランで他の事を示せば...どういうことか分からないと思います。アラビア語がわからないと、コーランを十分に理解できないからです。それは、私が非常に知的だと信じている人々に対する非難なのです。アラブ人は知的です。彼らの多くは、学者です。彼らは誰にでもコーランを明確に説明することができるのです。その論理を考えてみてください。うまく行きません。さらに、イスラム教と相容れないもう一つの教義が、預言者についての見解です。まず、モハメッドは、最も偉大な預言者と見なされています。モハメッドはアブラハム、ノア、モーセ、ダビデ王、ソロモン、洗礼者ヨハネ、さらに悪いことにイエス・キリストなど、コーランの中でさえ語られている預言者のすべての上にいるのです。すべてコーランの中に記されています。実際、コーランにはメシア/救い主としてイエスが 13 回ほど登場します。しかし、コーランではメシアという言葉は違います。定義が違うのです。モハメッドは、史上最も偉大な人物と言われています。さて、クリスチャンは、それが神の言葉と一致するのでしょうか？　イエスは、人の中で一番偉いのは誰なのかを教えておられます。神が語られるとき、私たちは耳を傾ける必要があることを理解してほしいのです。それは、私たちをあらゆる種類の偽りの教義から遠ざけます。私たちは少しも動じません。なぜ私たちは、すべてが聖書に書かれていると考えるのでしょうか。私たちの学びのためであり、また他の多くのこともそうです。確固たるものにしてください。ルカの福音書 7 章 26 節から 28 節に書かれています。お読みします。イエスが語られています。

ルカ 7

26 では、何を見に行ったのですか。預言者ですか。その通り。わたしはあなたがたに言います。預言者よりもすぐれた者をです。

27 この人こそ、『見よ、わたしはわたしの使いをあなたの前に遣わす。彼は、あなたの前にあなたの道を

備える』と書かれているその人です。

28 節、イエスが仰います。

28 わたしはあなたがたに言います。女から生まれた者の中で、ヨハネよりも偉大な者はだれもいません。しかし、神の国で一番小さい者でさえ、彼より偉大です。

これについて考えてみてください。イエスは肉から生まれておられないので、ご自分を含めておられないことを知っておいてください。イエスは神の御霊によってお生まれになりました。肉体を持った神は、肉から生まれたわけではありません。ここに書かれています。私たちは結局のところ、イエスが最も偉大な預言者であることを知っています。それは間違いありません。イエスは肉体を持った神なのです。神は最初の預言も、最後の預言でも、「見よ、わたしはすぐに来る」と言われました。確かに来られます。それが黙示録 22 章に書かれており、21 章にも書かれています。さて、最後に注意しなければならないのは、彼らが考える将来の裁きについての教義です。さて、この世に裁きが来ることは、私たち自身が知っていることです。私たちは、イエス・キリストによって裁かれるのです。しかし、彼らはこの裁きはアッラーによるものだと教えられています。それは自分の善行と悪行とに基づくものです。その結果に基づいて、その裁きがあなたが楽園で過ごすか、地獄で終わるかを決定するのです。これは、行いに基づく救いです。それは聖書の教えと全く一致していません。私たちは、神への愛ゆえに、生きるべき道があるのです。私たちの生活習慣は聖なるものであるべきです。しかし、私たちの救いは、私たちの善行や悪行によって決まるのではありません。私たちの救いは、ただ神の御子、イエスキリストを信じることにのみ基づいているのです。その信仰は、私たち全員が知るために、明らかにされるのです。神の御言葉がそうであると宣言しているからです。これだけでもイスラム教とキリスト教がいかに違うかわかるはずです。他に言うべきことはありません。コーランの中身が全部そっくりだったとしても、イエスを除けば、すべてゴミです。それが問題です。すべてはイエスに始まり、イエスに終わるのです。しかしイスラム教では、イエス・キリストの真の福音を拒絶しています。しかしイスラム教では、イエス・キリストの真の福音を拒絶しています。王の王、主の主の死、埋葬、復活、再臨を信じないのです。

では、同じ神に仕えている可能性があるのか、自問自答してみてください。牧師が説教壇の後ろに立って、どうして私たちは同じ神に仕えていると言えるのか？　イエスがすべての中心です。聖書には、人の霊が神から出たものであるかどうかを試すようにと、はっきりと書かれています。この真理は、第一ヨハネの手紙 4 章 1 節から 3 節に書かれています。お読みします。

Ⅰヨハネ 4

1 愛する者たち、霊をすべて信じてはいけません。偽預言者がたくさん世に出て来たので、その霊が神からのものかどうか、吟味しなさい。

2 神からの霊は、このようにして分かります。人となって来られたイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。

3 イエスを告白しない霊はみな、神からのものではありません。それは反キリストの霊です。あなたがたはそれが来ることを聞いていましたが、今すでに世に来ているのです。

こうして知ることができるのです。最も簡単なテストの一つです。イエスはあなたのどこに立っておられるのか？　イエスはあなたのどこにいるのか？　それですべてが分かります。これが私たちが信じる理由です。神の御言葉は試され、証明されています。何度も何度も試され、証明されました。私たちがすべきなのは檻の鍵を開けるだけで、獅子は飛び出してくるのです。聖書を開いてください。これが彼らの

教義の核心に迫るものです。このことも言わせてください。私の家族にもムスリムがいます。私が 25 歳のとき、いとこから初めてコーランをもらいました。その数週間後、そこにあるものがすべてアラビア語であることに気づいたのです。彼は私に電話をかけてきて、「ねえ、少しでも読んだ？」と私は「読めないよ。」彼は、「アラビア語を勉強すれば、読めるようになるよ」と。そして、私は彼にとても感銘を受けました。誤解しないでください。彼の生活習慣、生き方に感銘を受けたのです。彼の母親にも。なので、私は言いたいのは、彼らはただ、この熱意というものを持っているのです。そう表現するのが一番しっくりきます。その熱意を多くのクリスチャンに重ね合わせることができればと思うのです。すばらしいことです。しかし、悲しいことに、それは間違った方向に向いているのです。彼らと一緒に解読することができれば、そこにはもう熱意があるのです。それは素晴らしいことです。彼らには神への思いがあります。そして、多くのクリスチャンを辱めます。彼らの信仰に関して、5 つの柱を掲げています。まず、イスラム教に改宗する際には、シャハーダを唱えなければなりません。シャハーダという言葉は、「証人になる」という意味です。そして、これを声に出して話すようにと言われています。実際、いとこには「アラビア語で言わないと本物じゃない」と言われました。彼らが言わんとすることは訳されています。お読みします。「アッラーのほかに神はなく、モハメッドはアッラーの預言者である。」だから、声を出して完璧に理解し、心の中で信じて死ぬまで公言し、迷うことなく完璧に暗唱しさえすれば、あなたはイスラム教の信仰者なのです。そして、1 日に 5 回、サラーや祈りをすることが第 2 の柱となります。このことは、夜明け、昼、午後、夕方、そして夜間に起こります。サラーで行う具体的なこと、特定の祈りや姿勢も守ります。第 3 の柱は 施し（ザカート）を行うことです。ムスリムは収入の 2.5 パーセントを捧げることが求められています。クリスチャンは、「えっ？？2.5%？」ー (笑) ー　これで決まりです。ー (笑) ー　ええ、収入の 2.5%です。そのお金は、貧しい人々、孤児、未亡人、病人を助けるために使われ、さらにモスクや学校を建てるなど、さまざまな形でイスラム教に使われています。彼らはそのすべてを信仰のために捧げています。彼らはとても真剣に取り組んでいるのです。非常に真剣です。なぜなら、ほとんどのムスリムは、モハメッドが貧しい環境に置かれたことを理解しているからです。モハメッドは孤児で、彼らはそれに共感しています。なので彼らは本当に、このことに深く取り組んでいるのです。しかし、なぜそうするのか、その理由もまた大きな違いです。また、「スーラ 2456」にあるように、憐みを受けるために与えなさいということも書かれています。つまり、良いメリットのためにお金を払っているのです。そうすれば、その裁きは、より多くの功績、より多くの善行によって軽減されるのです。悪かったものを補うためにお金を払うのです。

4 つ目の柱。彼らの信仰は、ラマダン月に断食をすることが義務づけられています。その断食は日の出から日没まで、1 ヶ月間続きます。

そして、5 つ目の柱は、一生に一度、メッカへの巡礼（ハッジ）が義務づけられていることです。非常に高額な旅行です。しかし、全員とは言わないまでも、多くの人はそのメッカへの旅を実現するために最善を尽くすのです。理由があります。あるイスラムの学者がこんな言葉を残しています。引用します。

「巡礼者が実際に出発する前に、家族や友人を訪問し、彼らの間で起こったかもしれない両者の既知の、意図しない行為のために彼らの許しを求める。巡礼者はアッラーの前に立つ準備をしているのであって、その出会いを不完全な人間関係で台無しにされたくはないのである。（聞いてください）完璧な巡礼は、完全な罪の赦しにつながる。」その旅に出たいと思わない人はいないでしょう。

「本当ですか？ 明日、飛行機で出発します。そこでラマダンを待ちます。」要点はお分かりですね？

結局、自分が救われるために何をすべきか、何ができるかが重要なのです。それが問題なんです。さて、私たちもまた、信仰の柱、あるいは信仰の基本を掲げています。数か月前にこのことについてお話ししました。しかし、それは私たちが救われるためにすべきこととは関係ないものでした。イエスが私たちの救いのためにしてくださったことのゆえに、私たちが示した信仰でした。私たちの信仰は、聖書が神の永遠の言葉であり、こんにちも成就し続けている正確な預言によって証明されているという事実に基づいています。私たちの信仰は、人間にご自身を示された個人的な神との個人的な信仰です。私たちの信仰は告白でもありますが、その告白は、主の主、王の王、王の王、主の主に向かってするものです。そこに私たちの信仰と告白が向かうのです。私たちの信仰も適用されますが、それは、天の父が与えてくださった救いの賜物のために、天の父をほめたたえるために適用されるのです。私たちが、払いきれないほどの救いのために働くためではありません。私たちの信仰は絶え間ないものです。神の愛はすべての人に絶え間ないからです。神の御心は、すべての人が悔い改めて、ご自分を信じるようになることです。（II ペテロ 3:9 参照）

神の御心は、すべての人が悔い改めて、ご自分を信じるようになることです。（II ペテロ 3:9 参照）

アッラーが全く約束していないことです。実際、コーランのスーラ 3 章の終わり、140 節に次のように書かれています。「アッラーは不義を行う者を愛さない。」「アッラーは不義を行う者を愛さない。」では、簡単な質問をさせてください。あなたは間違いを犯したことがありますか？　これは問題です。真の生ける神、聖書の神は、詩編 5 篇 5 節にあるように、悪を行う者を憎まれることを知ってください。しかし、神の優しい愛は、悪人をも含みます。だからこそ、「神は世を愛された」という聖書の中で最も有名な一節があるのです。神は、「悪いことをする者を除いて、世を愛する」とは言っておられません。悪を行う者は例外だと？　違います。「世を」です。悪は憎みますが、悪を憎むことと、悪人を愛することは別です。ローマ 5 章 8 節に書かれています。お読みします。

ローマ 5

8 しかし、私たちがまだ罪びとであったときキリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。

これが、真の生ける神の愛の大きさです。私たちがまだ悪に満ちた罪びとであったとき、今もなお、私たちの肉の中には、良いものは何もありませんが、私たちに対する神の愛は初めから語られており、あの十字架の上のイエスキリストによって完全に示されたのです。ムスリムたちは、このキリストを、預言者モハメッドよりも小さな存在とみなすように教えられています。私たちクリスチャンにとっては、イエスが線引きするところなのです。私が思うに、そこが原点なのです。このことから、耳を傾けてくれるムスリムの人たちと関わり始めるのは、もちろんのことです。イエスが中心であるべきです。興味深いのは、イエスは預言者モハメッドより劣るとムスリムが主張する一方で 、コーランそのものに、モハメッドでさえ語られていないイエスが語られているのです。彼らの書物のバージョンでは、マリアの告知は…

ところで、マリアはコーランに登場する唯一の女性です。これが彼らのバージョンです。マリアには息子がいます。イエスのことです。彼らはイエスが神の御子であることについては語りませんが、コーランは処女懐胎について記されています。そして、モハメッドが決して手柄を立てることができない、あるいは決してできないことを、イエスが成し遂げるだろうと述べているのです。このことが、3 章 49 節に書かれています。お読みします。

「私は生まれつきの盲人や らい病人を癒し、アッラーの許しにより死者を蘇らせた。そして、あなたが

たの食べるものと、あなたがたの家に蓄えるものとを、あなたがたに宣言する。あなたがたが信じたなら、きっとしるしがある。」
これらは、イエスの御業についてコーランに書かれている奇跡が確認されたと考えられるでしょう。彼らの目には、イエスは預言者モハメッドより劣るのです。さて、多くのムスリムが奇跡を高く評価しない理由のひとつに、マタイ 24 章 24 節の誤った解釈があると私は考えます。偽キリストと偽預言者がしるしと不思議を行うことについて述べている箇所です。ここで 2 つのことが言えます。まずコーランでは、イエスが罪のない生涯を送ったと信じています。したがって、偽預言者である可能性はないのです。
2 つ目に、これは大患難について述べています。このようなしるしと不思議が与えられるのには、神による理由があります。そもそも彼らは神を拒絶しており、こんにちも多くの人が神を拒絶し続けているからです。最後に、ムスリムの心に関する問題を解決するために、私が望むことをお話ししたいと思います。繰り返しますが、耳を傾けてくれる人のことです。その答えは、もうお分かりだと思いますが、とてもシンプルです。イエスが救い主であり、神であること、そして救いはイエスによってのみもたらされることを示し、福音のメッセージを示すことです。聖書が語っている通りに。聖句で示し、彼らの書物を使うことで、彼らが考え始めるようにすればいいのです。それを見て、「うーん...」となる感じです。もしかしたら、彼らはこのことを知らないのかもしれません。ムスリムは若い頃から、イエスの人間性だけを示す多くの聖書箇所を見るように訓練されていることを忘れないでください。そして、彼らはクリスチャンに対して、イエスが神であり、イエスは私たちにご自分を礼拝することを望んおられると、聖書のどこに書いてあるのかを、曖昧にすることなく要求するように訓練されているのです。具体的にどこに書かれているのか？　多くの場合、そこから始めるのです。全員ではありませんが、そこが始めるのに良い部分なのです。なぜなら、イエスがすべてであり、イエスが答えだからです。私の彼らへの答えは、こんな感じです。「素晴らしい質問だね。コーランの中にその答えがあると信じているよ。」こんな顔で見るんです。「えっ…？？」まあ、彼らの書物にあるようなやり方で行くしかないでしょう。例えです。
「あなたたちムスリムの書物スーラ 57 章 3 節に、アッラーについてこう書かれています。『彼は初めであり、終わりである。』では、あなたにとってそれはどういうことですか？」
つまり、これは永遠の神であるという主張を語っているのか、宣伝しているのか、ということです。アッラーがここで言っているのはそういうことですか？　なぜなら、黙示録 1 章 17 節後半に書かれているからです。神の御言葉をお読みします。
黙示録 1
17「恐れることはない。（イエスが語っておられます）**わたしは初めであり、終わりであり、**
これは、神にしかお出来になれない発言です。誰にもできません。またコーランでも、イエスが罪のない人生を送られたことを認めているのです。イエスがここで語っておられるなら、嘘ではないのです。しかし、当然ながら、彼らの目には聖書は腐敗しているように映っています。行ったり来たりしているのが分かりますね？　そうなりえます。コーランの中で、ムスリムは、イエスが死者を蘇らせたと信じていることは、すでに見たとおりです。また、コーランの中では、アッラー以外に人を死からよみがえらせる力を持つ人物を見つけることはできません。では、ムスリムに質問します。
「なぜアッラーは、劣った預言者であるイエスに、こうしたあらゆるしるしと不思議を行わせ、罪のない人生を送らせたのか？　なぜアッラーはそんなことを？　あなたを混乱させるため？　ちょっと疑問です。それすらも意味がないとは言い切れないのでは？」「何かがおかしい。イエスをもっとよく見る必要

がある。イエスの記述は真実なのか？」コーランのスーラ 22 章 7 節には、復活に関して次のように書かれています。
「本当にその時は来るのであり，疑う余地はない。またアッラーは墓の中にいる者たちを甦らせる。」
つまり、コーランの言葉をそのまま受け取ると、彼らの神だけが、墓の中にいる人をよみがえらせることができるのです。そしてこれは、彼らの教えに従って裁きが行われる復活のことを述べているのです。その裁きは誰が下すのでしょうか？　アッラーです。スーラ 22 章 56，57 節にあるように。神だけが、よみがえらせることがお出来になります。神だけが、裁くことがお出来になります。それに対して同意します。なぜなら、私たちは、イエスが神であり、神とともにおられ、永遠に神の御子であることを知っているからです。ヨハネの福音書 5 章 25 節から 28 節に書かれています。お読みします。
ヨハネ 5
25 まことに、まことに、あなたがたに言います。死人が神の子の声を聞く時が来ます。がその時です。それを聞く者は生きます。
26 それは、父がご自分のうちにいのちを持っておられるように、子にも、自分のうちにいのちを持つようにしてくださったからです。
28 このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞くときが来るのです。
驚いてはなりません。これこそが、神の御力なのです。神であられるからです。聖書は明確に全体を通して伝えています。イエスが最終的な決定権を持ち、御父への従順な愛があられ、ムスリムや他のあらゆる宗教を含む全人類、地球上のすべての民族、信じる者すべてのために命を捨てられたのです。神の無条件の愛によるものであり、私がここで見たところでは、コーランからはかなり離れた概念です。無条件の愛？　そんなの見えません。そのような概念は、コーランにはありません。実際、アッラーがコーランの中で呼ばれる 100 近い名前のうち、愛の神と呼ばれることは一度もありません。その理由ですが、聖書には「神は愛である」と書かれています。聖書全体を通して、神が私たちを愛してくださっていることが語られています。神は私たちを気にかけ、決して見放さず、見捨てられません。困難なときに助けてくださり、恵み深く、憐み深く、永遠であられます。それが愛なる神です。今あなたは、あらゆるルールによって生きるか、愛に満ちた神によって支配されるかを選ぶことができます。それが、私たちのあるべき姿です。ですから、私のイスラム教徒の兄弟姉妹の皆さん、自分自身にこの質問を投げかけてみてください。コーランには、アッラーは何があってもあなたを愛していると書いてありますか？それとも、神へのあなたの愛が、救いの条件なのでしょうか？　考えてみてください。あなたの書物と、聖書を読んでください。そこから先は、聖霊にお任せします。お立ちください。祈りましょう。
愛する天のお父さま、ここにたくさんのことがあります。あなたがどんなことでも、あらゆることを明らかにして、聞く人の心に合わせて微調整してくださるよう祈ります。
主よ、私はあなたをとても愛しているので、時々熱くなります。あなたの御言葉は真理です。あなたを真剣に求めている人たちの心に浸透したことを祈ります。時間はわずかです。私たちは知っています。だから、主よ、私たちが外に出て、すべての人々に語りかける勇気を与えてください。私たちがあなたの真理の御言葉を語ることができるように準備し、備えることができるように、御言葉の中であなたと過ごす時間を増やすことができるよう助けてください。そして主よ、聖霊に支配され、脅威や責任を感じないようにしてください。あなたが私たちのために用意された完全な御心を行うために、あなたに対してのみ責任があります。ですから主よ、私たちを力づけ、保ち、どんな時でも福音を宣べ伝え続けるその願いを

私たちの心に与えてください。力強いイエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ
http://www.calvarychapelkaneohe.com/
Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii　　筆記 hukuinn7